

関西支部第 109 回技術講演会・LMAG 第 18 回現地講演会

2019/12/20 記録

Report of 109th Kansai Section Technical Lecture Meeting & 18th LMAG Kansai On-site Lecture

LMAG 関西 事務局

講演会の概要

講演者(Lecturer) : 大阪府立大学 名誉教授 植物工場研究センター長 増田 昇
Noboru Masuda, Professor Emeritus & Director of PFC, Osaka Prefecture University

講演題目(Title) : 都市における人工光型植物工場の多様な展開の可能性
ーランドスケープの視点からー

Possibility of various developments of artificial light type plant factories in cities
from the viewpoint of landscape

日時(Date)

2019 年 12 月 20 日(火) 14:00 - 16:30

場所(Place)

大阪府立大学植物工場研究センター (PFC) (C20 棟)
〒599-8531
堺市中区学園町 1 番 1 号

主催 (Organizer)

IEEE Kansai Section
IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group

参加者

14 名
(IEEE 会員 12 名, 非会員 2 名)
講演者を含まず。

プログラム (Program)

- 13 : 50 大阪府立大学 C20 棟前集合
- 14 : 00 開会挨拶
- 14 : 10 増田センター長の講演
- 15 : 00 見学開始
- 15 : 50 質疑応答
- 16 : 10 閉会
- 16 : 25 記念撮影
- 16 : 30 終了

概要 (Brief Report)

まず、植物工場に関する講演を増田センター長から伺い、その後 C20 棟、C21 棟、C22 棟の見学を行った。見学後には、直売所で半数以上の参加者が衛生的に優れていて日持ちの良い府大ブランドのレタス“府大マルシェ”を購入していた。

講演

植物工場の定義、人工光型植物工場の基本構成、PFC の新世代植物工場での栽培工程と、教育・研究活動、人工光型植物工場の将来像を章立て話していただいた。立体多段構成とすることで土地利用効率を上げ、わずか 1 反の面積で月 1.8 億円近い売り上げを上げて自立されていること、植物も 9 時間前後の夜を必要とすること、風の制御も植物の適切な光合成のために大事であることなど、興味深い点が多かった。植物工場ならではの狙い、たとえば、用途に応じた特徴を有する植物の生産、レタスを使ったレシピの開発など、農(生産者)と食(消費者)の一体的展開なども目指されていることが期待できる点であった。

見学

増田センター長と事務局下釜さんの案内により順次見学した。照明の研究、水耕栽培による立派なわさびの栽培研究、多品種同時栽培実験室、など。

写真 (Photo)



講演会場



施設見学



施設前での集合写真



懇親会の様子

8名で三国ヶ丘駅前にて
歓談の時を持った。

以上